

## 第 3 章

資

料

# 九州教育経営学会連携講演発表資料「秋田県における学力保障の取組」

鷲谷真一氏（秋田県教育庁義務教育課副主幹）

## 九州教育経営学会第91回定例研究会 福岡 秋田 教育考

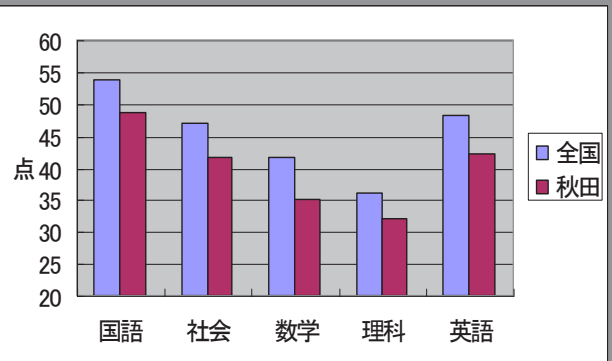


秋田県マスコットキャラクター

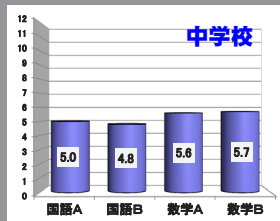
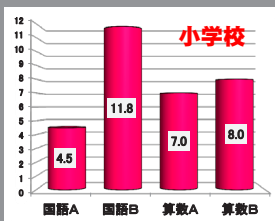
平成27年1月24日

### 全国学力調査 秋田県の状況

昭和39年度 全国学力調査 中3 全国・秋田の比較



### 全国との差(H26秋田県)



- 全ての教科で4.5ポイント以上全国平均を上回る。
- ここ数年、課題として取り組んできたB問題について、A問題よりも上回る傾向が続いている。



100 - 30 × 3

H13年度秋田県学習状況調査  
小5年から30%抽出

56.2%

### 県学習状況調査と全国学力調査

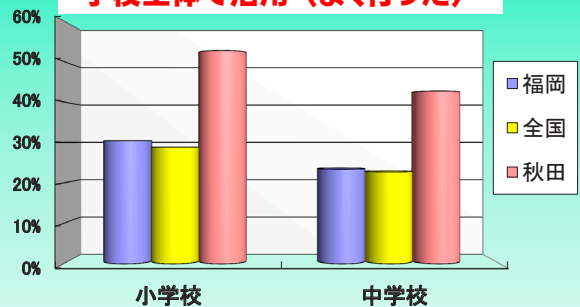
加法と乗法の混合した計算(小学校)の例

H26	92.7%	100 - 20 × 4 (国)
	↑	福岡79.5% 全国80.9%
H22	93.7%	50 + 150 × 2 (国)
	↑	福岡62.7% 全国65.9%
H17	76.8%	16 + 4 × 5 (県)
	↑	
H13	56.2%	100 - 30 × 3 (県)

### 調査結果の活用

(H26全国調査 学校質問紙)

学校全体で活用(よく行った)




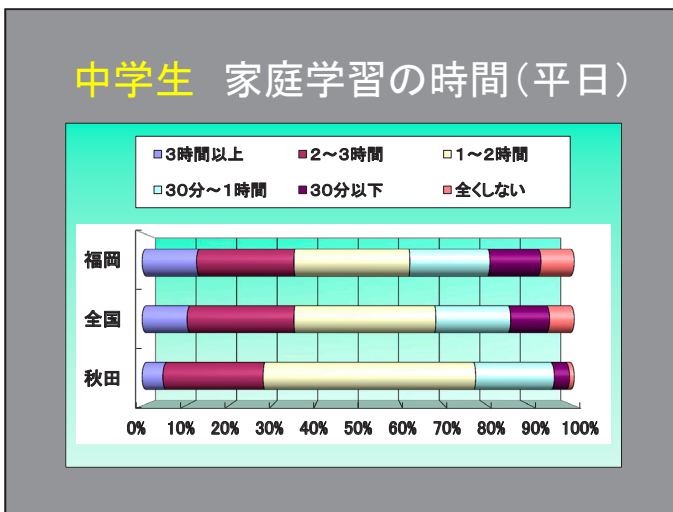
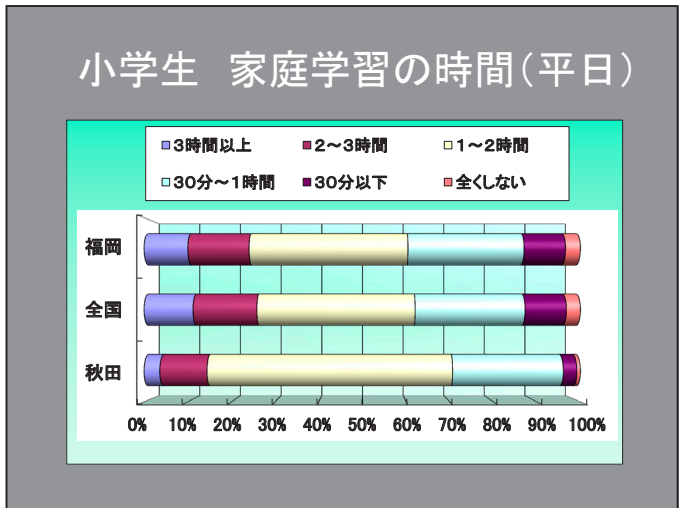
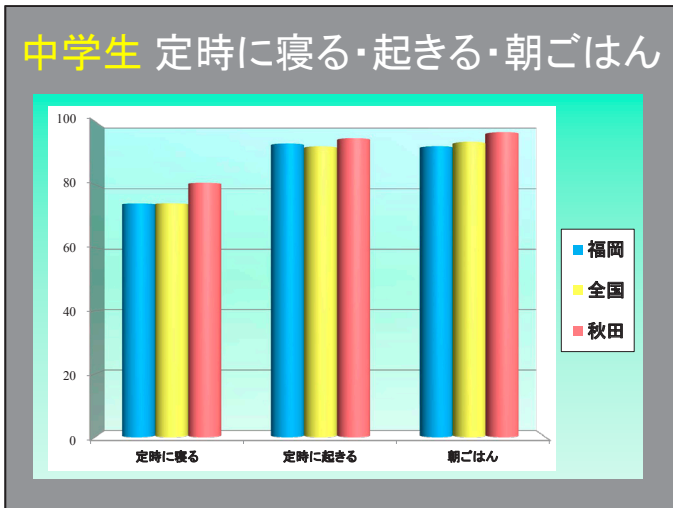
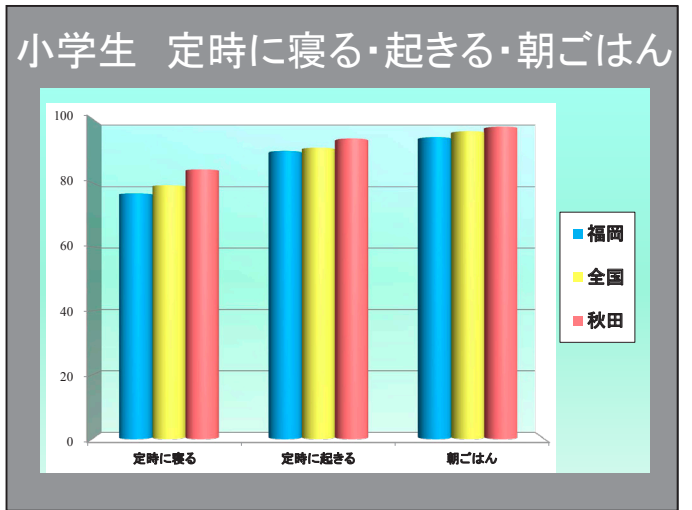
**本県の児童生徒のよさ**

各学校の「目指す子ども像」やPTA活動のスローガン等に  
よさは一層伸ばしていきたい

本県児童生徒の学びの姿のよさを想起できる表現に努めた

秋田わか杉っ子 学びの十か条

- 一 早ね早おき朝ごはんは家庭学習  
規則正しい生活がスタートライン
- 二 学校の話題ではずむ一家団らん  
笑いが脳を活性化
- 三 読書で拓く心と世界  
めくるページが広がる想像力
- 四 話して書いて伝え合う国語  
国語力は学びの基本
- 五 難問・難題にも挑戦する算数・数学  
あきらめずやりきることで能力アップ
- 六 新発見の連続、広がる総合  
総合の時間は脳のビタミン
- 七 きまり、ルールは守ってあたりまえ  
落ち着いた教室で高まる集中力
- 八 いつも気をつけている言葉づかい  
相手意識でみがく活用力
- 九 説明は筋道立てて伝わるように  
整理する工夫が脳のトレーニング
- 十 学んだことは生活で学校ですぐ活用  
活用できて本当の生きる力

### 家庭学習の充実に向けて ~〇〇地区家庭学習の手引き

家庭学習の充実のために 3つの種

- 決まった時間になったら机に向かう
- 机の上には学習用具だけを置く
- 「ながら勉強」をしない(テレビ・ゲーム・スマホ)
- 文字を丁寧に書いて美しく書く
- 復習を大事にする
- 本に親しみ、感性と知的好奇心を育てる

学習習慣づくりのポイント

- 小1 20分
- 小2 30分
- 小3 40分
- 小4 50分
- 小5 60分
- 小6 70分
- 中1 80分
- 中2 90分
- 中3 100分

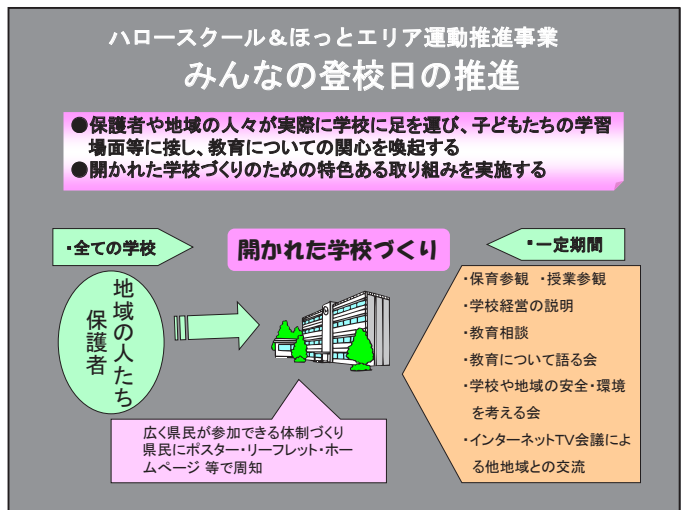
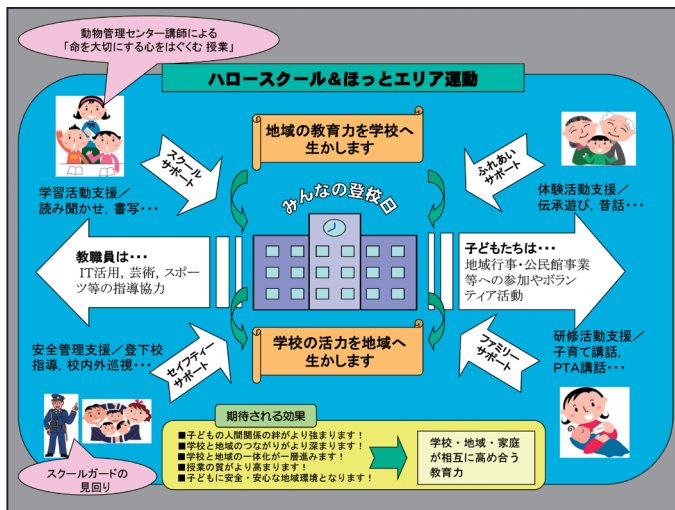
ご家庭の方 がんばりがけ

- 家庭学習をやることの意味(目的)を伝える
- 難から手をつけていく
- 子どもの行動に褒めをしよう
- 親子の会話を大切にして、子どものふれあいを大切にする
- がんばったときはちゃんとほめよう

子供がのびのびと学習に取り組むためには家庭からできることがたくさんあることが第一条件です

秋田県マスコットキャラクター スギツチ

(三浦市八尾地区家庭学習の手引き作成委員会)



### 少人数学習推進事業 (H13～)

**趣旨** 子どもの個性を生かし、子どもの多様性に  
応える教育活動を展開する

**内容**

① **小学校1年～4年 及び 中学校全学年**  
○30人程度学級の実施  
→基本的な生活習慣・学習習慣の定着、安定した学校生活の確保  
いわゆる「小1プロブレム」「中1ギャップ」への対応など

② **小学校5年、6年 及び 中学校**  
○20人程度の学習集団による少人数指導  
→基礎学力の定着・向上

### 少人数学習推進事業

○30人程度の学級編制  
○T T等での学習集団の少人数指導

小学校	1年
(H13～)	2年
(H23～)	3年
(H24～)	4年
	5年
	6年
中学校	1年
(H14～)	2年
(H25～)	2年
(H26～)	3年

基本教科で20人程度の少人数指導ができるように人的配置

\*基本教科  
小:国・算・理  
中:数・理・英

小学校で33人、中学校で34人以上の学級をもつ学年に、少人数学習のための人的配置

### 秋田県学習状況調査 (H14～)

**趣旨**

- 少人数学習の成果や課題の把握・検証
- 県内の児童生徒の学習状況の把握・検証
- 各学校における教育・指導の改善・充実

毎年、悉皆調査

児童生徒の学力・学習意欲等に関する調査の実施

実施時期 毎年12月上旬

対象 小学校第4・5・6学年  
中学校第1・2学年

調査内容

- 学力調査 小4 国語・算数・理科  
小5,6 国語・社会・算数・理科  
中学校 国語・社会・数学・理科・英語
- 学習意欲等の質問紙調査

義務教育の質の保証のための客観的データを確保

### 国・県の学力調査及び高校入試を一体として捉えたあきた型検証改善サイクルの確立 (H21～)

全国学力調査、県学習状況調査、高校入試の活用

PDCAサイクルの大枠  
4月、8月、12月、3月にチェック

4月・・・7月・8月・・・12月・・・3月・・・次年度

各校で自己採点 結果公表 学習状況調査 高校入試 各校で改善状況の把握

各々での見届け

県の課題の改善状況の把握

客観的分析、対策の明確化

問題分析.....求められる力、授業改善の方向を確認  
各校自己採点...個別指導、授業改善